

## リユース（再使用）食器貸出事業スタート

～ 使い捨て容器をやめて！ 環境にやさしいまちづくり！！ ～

リユース(再使用)食器貸出事業が「区民ひろば清和」(所長/田畑良子)で開催された「ひろばまつり」で試行的にスタートした。

これは、繰り返し使用できる食器＝リユース食器の活用を通して、区民等に環境保全・資源保護の重要性を啓発し、ごみの減量や CO2 排出抑制につなげ、また、区民等の交流の場である区施設「地域区民ひろば」を食器貸出の拠点とすることで、地域コミュニティの自発的な環境保全活動の活性化をもたらすことを期待して実施するもの。区では、リユース食器として皿(大・小)200 枚、マグカップ、丼 300 個、箸 300 膳、スプーン 50 本を購入、材質は屋外でも使用できるよう、割れにくく、キズがつきにくい素材のメラミン製。また、業務用の食器洗浄器や収納コンテナ等もあわせて購入した。以前の「区民ひろば」は高齢者の憩いの施設として浴室設備を備えており(浴場事業は休止中)、この設備を活用して食器洗浄器を設置した。これらの初期費用は約 150 万円、光熱費は 2000 枚洗浄で約 3000 円と見積もっている。

日 時	平成 20 年 2 月 2 日 (土) 午前 10 時 30 分～午後 3 時
場 所	地域区民ひろば清和 (巢鴨 3-15-20)
当日の様子など	<p>使い捨て食器をリサイクルするには大量のエネルギーや資源が必要である。しかし、リユース（再使用）食器を活用すれば、ごみの減量化や焼却しないために CO2 の削減が図られ、また、繰り返し利用できるために経費も低コストですみ、さらには紙資源の保護にもつながるなどのメリットが考えられる。</p> <p>本日 2 日の「清和ひろばまつり」で使用する使い捨て食器を市販で購入すれば約 1 万円の出費となる。ひろばでは年間 20 回以上のイベント等で使い捨て食器等を約 5000 個使用しており、45ℓ入りごみ袋の 22 袋分(約 100 kg)にあたるという。また、平成 14 年度東京大学生産技術研究所の調査では、飲料水 650 杯分を使い捨て食器使用から、リユース食器に換えた場合は 48.7 kg の CO2 削減効果があるという。</p> <p>ひろばまつりに参加した 60 代男性は「何げなく紙コップを使用して、ごみとして捨てていたが、温暖化防止のためにもリユース食器の使用には賛成です」と話してくれた。</p> <p>今後、区はリユース食器の PR をすすめ、食器利用の拡大をめざす。当面は無料で貸し出すが、将来的には、「区民ひろば」は区民主体の自主運営をめざしており、デポジット制度を含めた有料化等も試行実施を踏まえて検証していく。</p>
補 足 等	地域区民ひろば/年齢や使用目的によって利用に制限のあった既存施設を、小学校区を基礎的単位とした地域コミュニティの視点から見直し、地域の多様な活動の拠点として有効に活用できるよう再編した。地域の多様な主体が参画する運営協議会による施設の自主運営をめざしている。
写 真 *写真はメール で送ります	 
問 合 せ	計画管理課